

## 指導のねらい

方眼上の三角形の底辺と高さを測定し、面積を求めることができるようにする。

## 課題の見られた問題の概要と結果

A ㊦ 方眼上の三角形の面積を求める式を書く。

正答率67.1%

## 学習指導要領における領域・内容

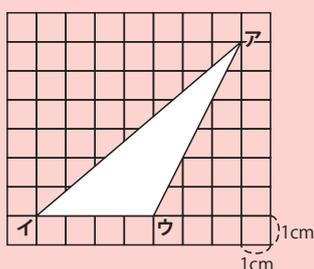
〔第5学年〕 B 量と測定

- (1) 基本的な平面図形の面積が計算で求められることの理解を深め、面積を求めることができるようにする。  
ア 三角形及び平行四辺形の面積の求め方を考え、それらを用いること。

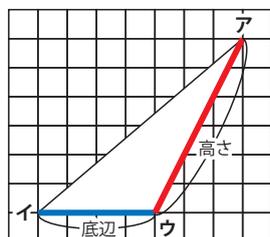
## 授業アイデア例

## 《主な学習内容》

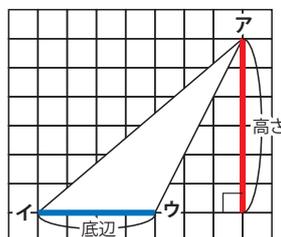
下の三角形アイウの面積を求めましょう。



底辺の長さが高さがわかれば、面積を求めることができます。  
辺イウを底辺にすると長さはわかりやすそうです。



辺イウが底辺のとき、高さは—の長さをはかればいいと思います。

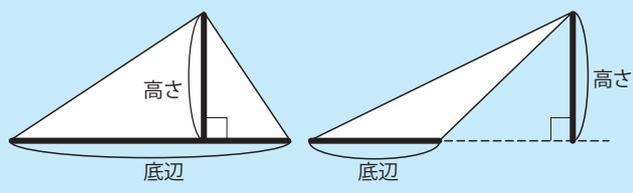


辺イウが底辺のとき、高さは—の長さをはかればいいと思います。



底辺と高さの学習をふり返ってみましょう。

これまでに学習した三角形の底辺と高さ



底辺と高さは、垂直に交わるので、Bさんのはかり方が正しいです。Bさんのはかり方ではかると、底辺は4目もり、高さは6目もりだから、底辺は4cm、高さは6cmです。



底辺が4cm、高さが6cmなので、 $4 \times 6 \div 2 = 12$ で面積が求められます。  
この三角形の面積は、 $12\text{cm}^2$ です。



- 三角形の面積を求めるために、どの部分の長さが必要かを考える。
- 辺イウを底辺にした場合に、どの部分を高さとするかよく考える。
- 底辺と高さの関係を教科書等で確認する。
- 方眼を基にして、高さを測定し、面積を求める。

## 留意点

- いろいろな三角形で、底辺や高さを考えられるようにする。